

衆議院が解散

総選挙28日公示 投票日は 11月9日

衆議院は十日午後一時開

会の本会議で解散された。

これを受け政府は臨時閣

議を開き、「十月二十八日

公示、十一月九日投票」

の総選挙日程を決定、各

党は公示日を待たずに事

実上の選挙戦に突入する。

現憲法下の解散は十九回

目で、前回二一年六

月以来、三年四月ぶり。

小泉政権発足から二年六

カ月で初めて。

小泉純一郎首相は「内

閣の実績と構造改革路線

の継続」を強調、郵政事

業、道路関係四公団の民

営化推進などを訴え国民

に信を問う。野党側は、

政権交代を要求。民主党

は「小泉内閣では何一つ

改革は進まない」（菅直

人代表）として、政策本

位の「マニフェスト（政

権公約）選挙」を挑む。

安倍晋三幹事長を擁す

る新体制の自民党と、旧

自由党との合併で衆参二

百人を超える勢力となっ

た民主党との「二大政党」

対決も注目される。首相

が自民、公明、保守新党

の自公保連立を維持しつ

つ、「自民党の単独過半数」

を目標としたのに対し、

民主党など野党側は与党

三党を過半数割れに追い

込むことで政権交代を目

指す。

解散により、十月十四

日告示、二十六日投票の

予定だった衆議院の五補選

は総選挙に吸収された。



衆議院が解散され万歳する議員と頭を下げる小泉首相
10日午後1時5分、衆議院本会議場